

教科	理科	科目	理科	単位	3	年次	第1学年
使用教科書	未来へひろがる サイエンス1 啓林館						
副教材	新中学問題集 理科1年						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

理科の学習を通して、日ごろのなぜについての考えを深めましょう。特に、授業の中での「なぜ？」という問いかけは科学の出発点なので、そういったなぜを日ごろから深めて解き明かしたり、蓄積することを続けてください。そうすることで、読書をしたりニュース番組をしたり際に科学という観点から世界を見つめ直し、自分がどう生きるべきなのかといった考えを深めていくことを期待しています。また、理科という授業は論理的思考力を鍛える場でもあります。特に、問題集は暗記事項の確認だけでなく、論理的思考を求められるものでもあるので日ごろから学習済みの範囲に関しては自学自習を心がけることを大切にしてください。

2. 学習の到達目標

生命:身近な生物の観察を通して、身の回りの自然に積極的に関わりその名前や分類上の特徴を他人へ説明することができるようになる。
 地球:地震や噴火などの自然現象をそれらに関わる物質の特徴や計測値を使って説明できるようになる。また、特定の化石や岩石の産出といった情報から過去の環境やその成り立ちを推測し説明することができるようになる。
 物質:それぞれの物質の特徴から、適切な分離方法を選択し実験することができる。また、質量の計測やグラフの記入といった基礎的なデータの収集・記録を行うことができる。
 エネルギー:身の回りの自然現象について特定の名称とその説明ができるようになる。力に関する概念を理解し、説明することができる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	身近な現象を日常生活や社会と関連付けながら、それらの観察、実験などに関する技能を身につけることができるかを評価する。	身近な現象について、問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、様々な現象に関する規則性や関係性を見出して表現することができるかを評価する。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強く取り組もうとする姿勢を評価する。
評 価 方 法	定期テスト 課題提出	実験ワークシート 定期テスト	提出課題(問題集・テストのやり直しなど) レポート 授業観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	生命	植物の特徴と分類			○	植物のつくりを分類で使われる語句を使って説明することができる。	課題提出とテスト
5		動物の特徴と分類	○			生物の分類をその増え方、呼吸の仕方などから分類することができる。	課題提出とテスト
6	エネルギー	光による現象	○			身近にみられる光にかかわる現象について理解し、説明することができる。	課題提出とテスト
7		音による現象			○	音について基礎的な概念を理解し、説明することができる。	課題提出とテスト
8		力による現象		○		力の概念を理解し、日常にみられる物体の力のつり合いについて説明することができる。	課題提出とテスト
9		身近な大地・揺れる大地		○		地震についてその現象を理解し、その仕組みを説明することができる。	課題提出とテスト

10	地球	火を噴く大地	○		火山におけるマグマの特徴やそれからできる岩石について説明することができる。	課題提出とテスト
11		語る大地		○	特定の地層や化石から当時の環境を推測したり、地球規模で起きた変化についての仮説を考えることができる。	課題提出とテスト
12	化学	いろいろな物質とその性質		○	身の回りの物質に興味を持ち、重さ・体積・密度といった物質を測定するための概念について理解することができる。また、それぞれの物質に適した要素を選択し計測することができる。	課題提出とテスト
1		いろいろな気体とその性質		○	いろいろな気体とその性質を理解できる。またそれぞれの気体の存在を確かめる方法を判断し、実際に特定の気体の存在を推測・確かめることができる。	課題提出とテスト
2		水溶液の性質	○		溶液に関する基礎的な知識を理解し、特定の濃度の溶液を作成することができる。また、	課題提出とテスト
3		物質の姿とその変化		○	温度変化によって物質の状態がどのように変化するかを実験によって確かめることができる。また、結果を表やグラフといった形にまとめ表現することができる。	課題提出とテスト

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。